

# 平成31年度入園・入学式



名前を呼ばれて元気にお返事

4月6日(土)、こども園ひがしどおり(坂崎隆浩園長)入園式、4月8日(月)には、東通小学校(氣仙宏校長)入学式、東通中学校(古里利行)入学式が挙行され、142名の園児・児童・生徒が新たなスタートを切りました。

こども園ひがしどおりには、41名の子ども達が入園。保護者をはじめ、村関係者や地域のみなさんが出席し、子ども達の新たな門出を祝いました。

新入園児は一人一人名前を呼ばれ、マイクを向けられると元気に返事をしていました。

その後、新入園児たちは年長の園児からの、合唱やお祝いの言葉で歓迎を受けました。



緊張しながら入場する新入児童

東通小学校には、新たに43名が入学。新入生入場が始まると、新入生は緊張した様子でしたが、しっかりとした足取りで、自分の席へと向かって歩いていました。

式では、交通安全への願いが込められた黄色い安全帽が授与され、また、歓迎の言葉では2学年児童が小学校生活の楽しさを紹介すると、新入児童はこれから始まる小学校生活に、目を輝かせ、聞きいつていました。



新しい学校に緊張気味の新小学生

東通中学校の入学式では、58名が新たに中学生となりました。

新入生は担任が自分の名前を呼ぶと、凛とした大きな声で返事をしていました。

新入生に対し西山虎太郎生徒会長は「中学校生活では定期考査や部活動での大会等、大変な行事も多く、体育祭や文化祭では自分達が主体となり行動しますが、皆で力を合わせて充実した中学校生活にしましょう」と、小学校時代との違いを述べると同時に、新入生への激励を行いました。激励の言葉を聞いた新入生は、中学校生活への期待に胸を膨らませていました。



気を引き締めて式に臨む新中学生



新入生代表の佐藤さくらさんによる誓いの言葉